

# LNG・天然ガス市場の近況

第35回 IEEJエネルギーウェビナー（速報解説）

2022年8月18日（木）

日本エネルギー経済研究所 化石エネルギー・国際協力ユニット

ガスグループ 橋本 裕 [hiroshi.hashimoto@tky.ieej.or.jp](mailto:hiroshi.hashimoto@tky.ieej.or.jp)

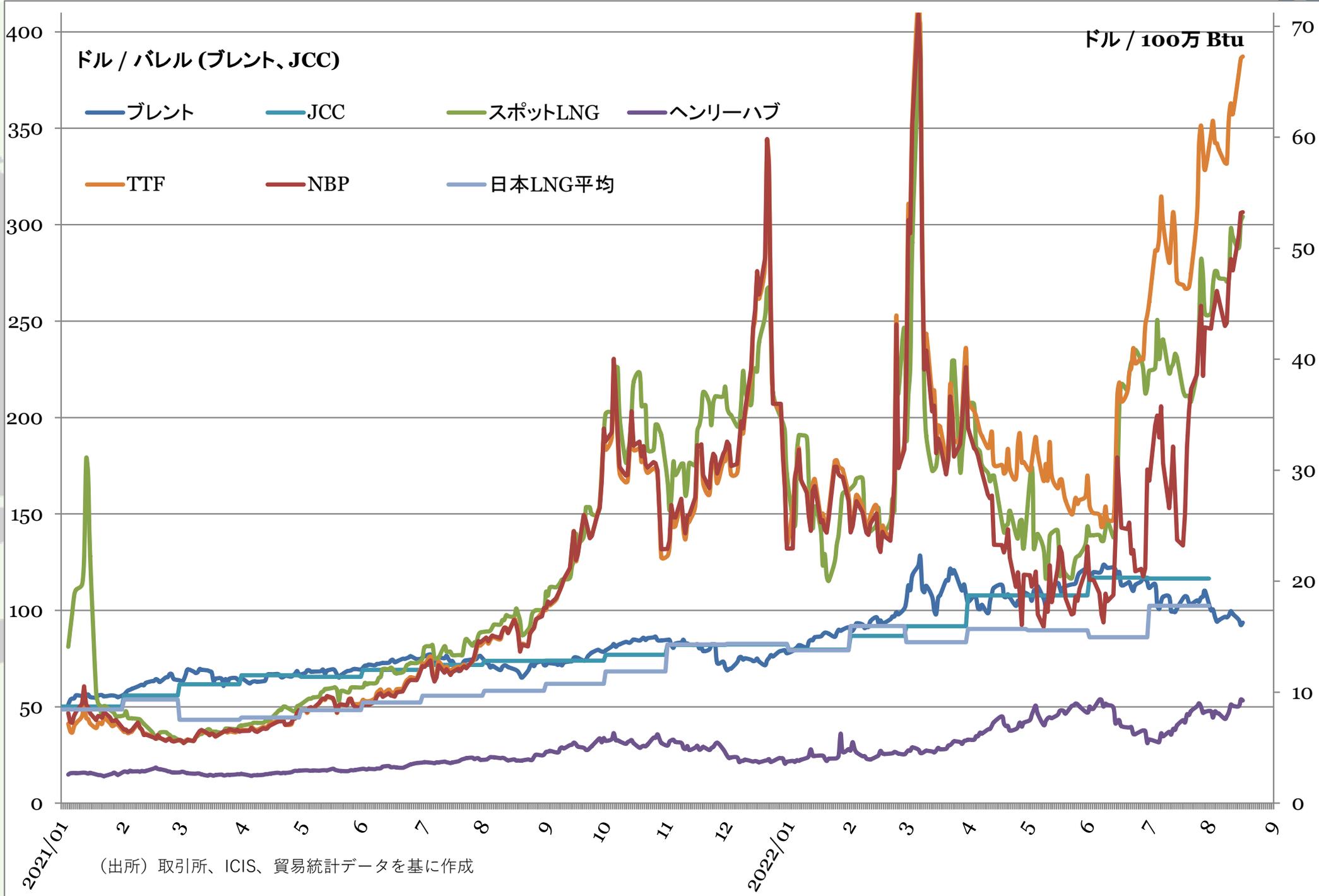
免責事項: 本プレゼンテーションは、情報提供のみを目的としたものであり、具体的な行為を推奨することを目的として作成されたものではありません。

# 世界ガス 価格、前 代未聞の 高騰加速

2022年後半、  
欧州**TTF**価  
格独歩高が  
特徴

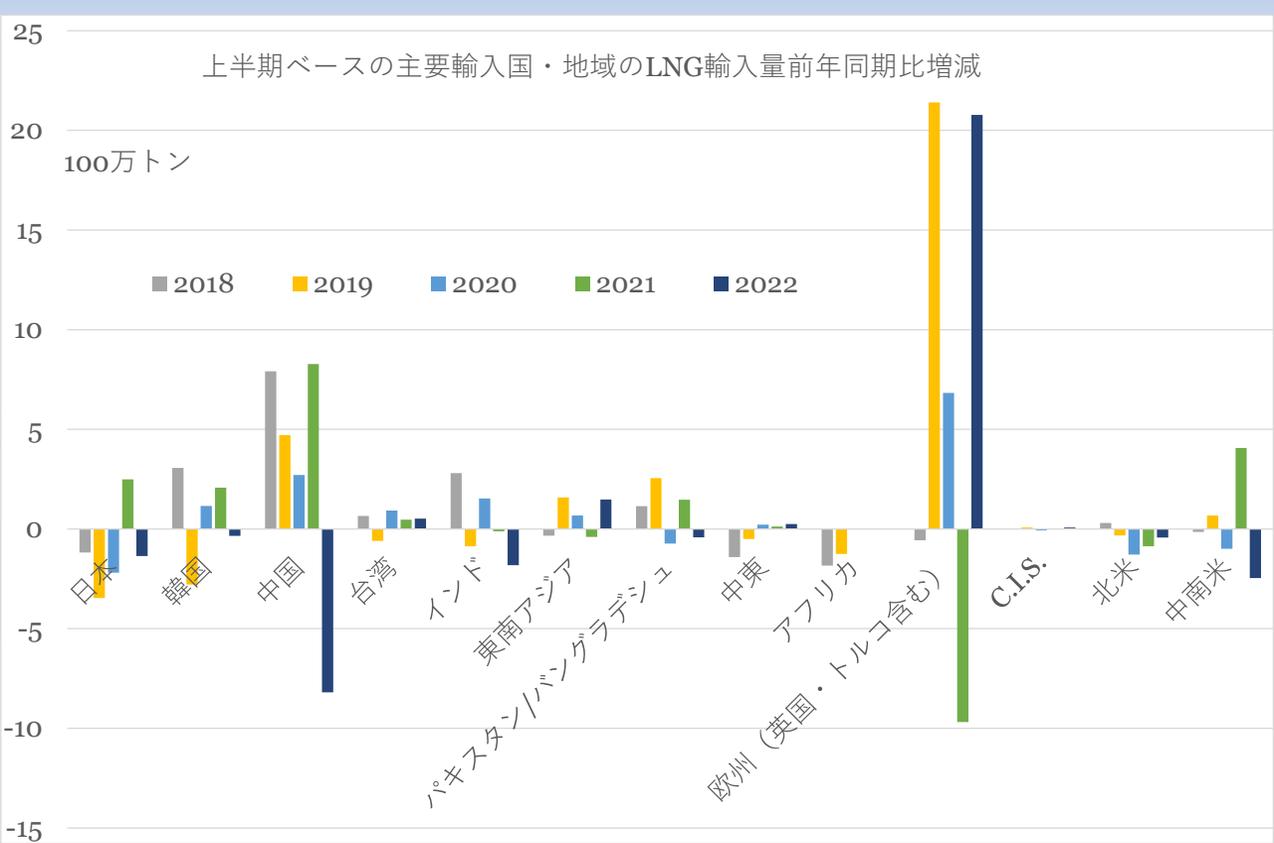
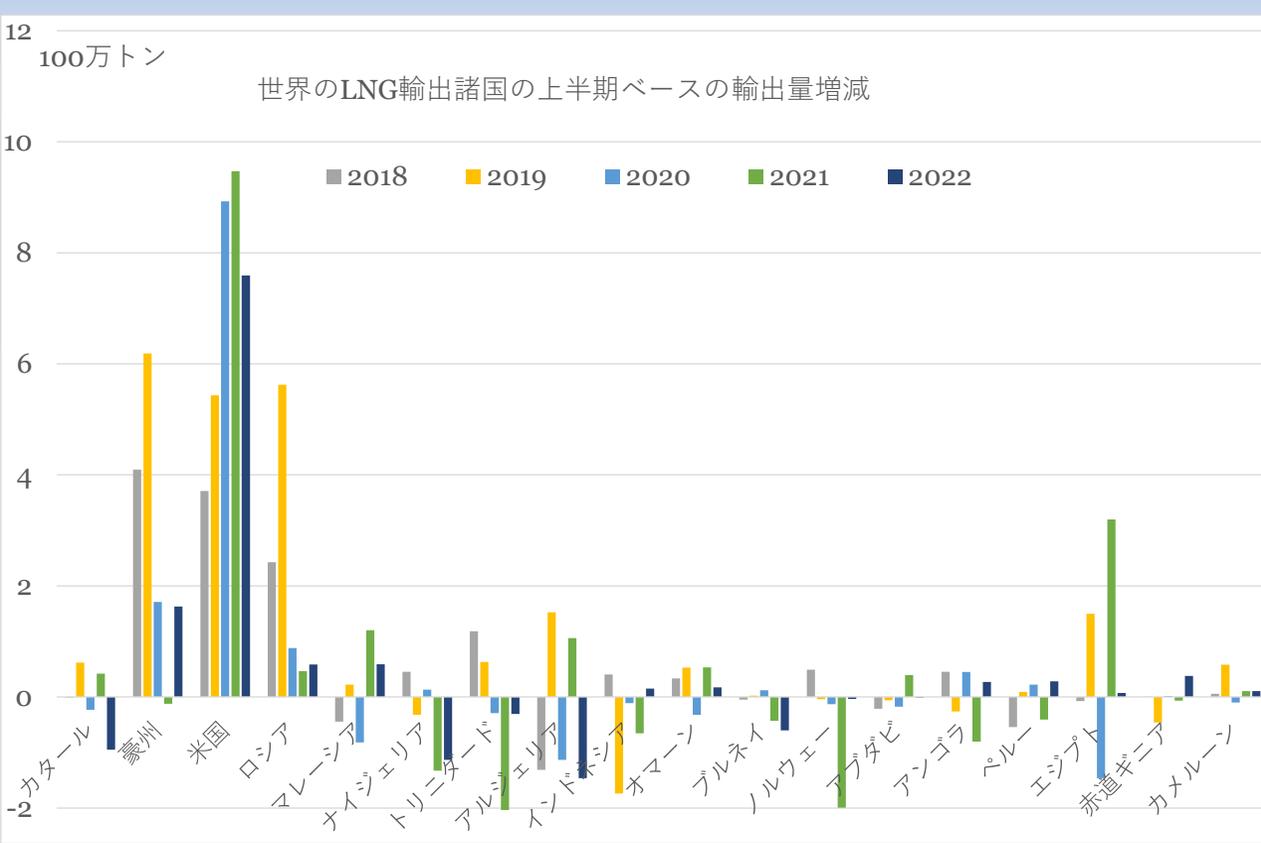
アジアのス  
ポット**LNG**  
は**TTF**に引  
きずられつ  
つ、冬季対  
策もあり上  
昇

長期契約価  
格も上昇



# 世界のLNG貿易、2022年上半期、前年同期比4%強増加して、2億トン

日本のLNG輸入量は、3754万トン、中国が3126万トンとなり、国単位では日本が再び世界最大  
 米国が世界最大の4100万トンを輸出、豪州、カタールを上回る



(出所) 各国貿易統計および Cedigaz LNG Service に基づき作成

# サハリン2関連: 8月2日付政令1369号について



- ロシア連邦政府は、2022年8月2日、ООО “Сахалинская энергия” (Sakhalin Energy LLC) (サハリンスカヤ・エネルギー) を Sakhalin-2 PSA 新オペレーター企業として設立・登記する政令発布
  - Piltun-Astokhskoye ・ Lunskoye ガス・油田ライセンスは 新社向けに更新
  - 新社定款および外国参加企業によるPSA諸条件充足の監査実施規則も公表
  - 監査は、2019年1月から2022年6月までの期間に関して、ロシア連邦財務省、環境・技術・原子力監督庁、天然資源監督庁により実施
  - 既存Sakhalin Energy 株主は、1ヶ月以内（9月4日）に、新ロシア法人会社の株式を、従来のオペレーターの持分に沿って受け容れることに合意するならばその旨通知しなければならない
- 
- 「新ロシア法人」設立までの間、諸条件の照会・確認作業があった模様
  - 日本買主のLNG契約に関しては、同条件での継続が通知された模様

|      | ロシア側の動き                              | 日、欧、米その他の動き                   |
|------|--------------------------------------|-------------------------------|
| 3/8  |                                      | EC、REPowerEU発表 米、ロシア産化石燃料輸入禁止 |
| 3/30 |                                      | ドイツ、ガス供給 Early Warning        |
| 3/31 | ロ政府、ガス代金ルール建て支払い指令                   | <b>日本、サハリン権益・供給維持明言</b>       |
| 4/9  |                                      | EU、ロシア産石炭輸入禁止                 |
| 4/21 |                                      | EC、ガス代金ルール支払いガイドライン           |
| 4/27 | ブルガリア、ポーランドへのガス停止                    |                               |
| 4/29 | ロ中銀、ルール支払い方法明示                       |                               |
| 5/3  | ロ政府、輸出対抗制裁指令                         |                               |
| 5/10 |                                      | ウクライナGTSOUフォースマジュール           |
| 5/11 | ロ政府、対抗制裁リスト公表                        |                               |
| 5/12 | EuRoPol GAZ, Gazprom Germania へのガス停止 |                               |
| 5/下  | フィンランド、デンマーク、オランダへのガス停止              | EU、第6次制裁パッケージ原則合意             |
| 6/1  | ドイツ Shell へのガス停止                     |                               |
| 6/3  |                                      | EU、第6次制裁パッケージ発行               |
| 6/13 | Nord Stream 供給量激減開始                  |                               |
| 6/23 |                                      | ドイツ、ガス供給 Alert                |
| 6/30 | <b>サハリン2移管大統領令416 (6/28地下資源法改正)</b>  |                               |
| 7/8  |                                      | ドイツ、エネルギーセキュリティ法改正、Uniper 救済へ |
| 下旬   | Nord Stream 供給量一段下げ                  | EU、節ガス策                       |
| 8/2  | サハリン2運営ロシア法人設立政令                     |                               |

# 欧州LNGシフト

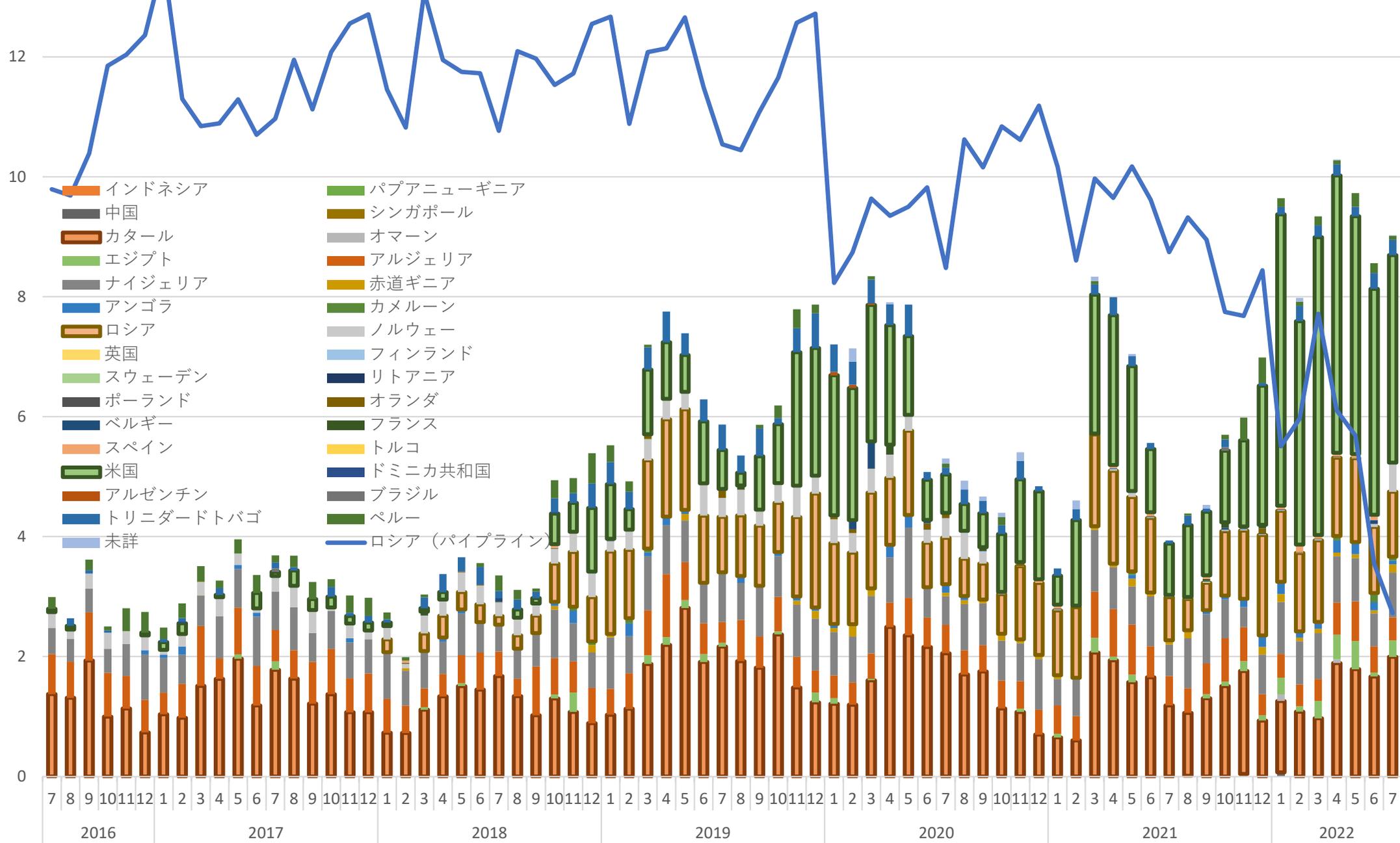
2022年上半、欧州連合+英国は5500万トンのLNGを輸入

ロシア産ガス（LNG含む）量は12月の1000万トンから6月の400万トン程度に減少

脱ロシア依存よりも、ロシア側による揺さ振りで減少

(100万トン換算)

## 欧州連合・英国向けLNG・ロシア産パイプラインガス供給推移



(Source) Based on data of Cedigaz LNG Services, Eurostat, Trade Stats of GB, Gazprom flow figures

250

mcm/d = 日量100万m3

# 欧州連合向けロシア産パイプラインガス供給

200

150

100

0

バルティック+フィンランド

ベラルーシ経由

トルコ経由 (TAP除く)

Nord Stream

ウクライナ経由

Gazprom による欧州向け  
パイプラインガス供給  
Nord Stream が6月以降激減

2021/01/01 2021/02/01 2021/03/01 2021/04/01 2021/05/01 2021/06/01 2021/07/01 2021/08/01 2021/09/01 2021/10/01 2021/11/01 2021/12/01 2022/01/01 2022/02/01 2022/03/01 2022/04/01 2022/05/01 2022/06/01 2022/07/01 2022/08/01

(出所) ENTSOG データ基に作成

# 脱ロシア依存とは

- 欧州連合の脱ロシア方針は、日本と事情が違う
  - ✓EU諸国はロシア産天然ガス依存度が高かったが、日本のロシア産LNG導入は寧ろ供給源多様化だった
- EUは2027年までに脱ロシア依存との方針だが、それまでの間は安定供給を確保しなくてはならない
  - ✓短期的には代替供給確保が不確実な中、揺さ振りに曝される
  - ✓世界LNG市場逼迫を招いている
- 日本にとって、**Sakhalin 2 LNG** は、出資参加・供給とも継続確保が望ましい
  - ✓一方で、出資参加・供給を失う事態に備えた対策が急務